

文部科学省にパブリックコメントを提出

令和3年10月1日、文部科学省では、「令和の日本型学校教育」を担う新たな教師の学びの姿の実現に向けて(審議まとめ)(案)に関するパブリックコメント(10月30日期限)を実施した。これを受けて、本協会では、次の事項を明記するよう要望書を提出した。

「令和の日本型学校教育」を担う新たな教師の学びの姿の実現に向けて(審議まとめ)に関するパブリックコメントへの意見

2021. 10. 15

公益財団法人 私立大学通信教育協会
理事長 高橋 陽一

- ① 免許状更新講習においては、当初から通信教育の方法による講習が構築され、大学通信教育実施校が役割を担った経緯があること。
- ② 在宅での教員の受講のために通信教育による講習が実施されたことや ICT 活用という視点でも大きな実績となっていたこと。
- ③ GIGA スクール構想を担う ICT 活用能力を持った教員という姿からも、メディア授業を広げてきた大学通信教育が今後も担うべき役割があること。
- ④ 社会人教員の新たな免許状取得や現職教員の別校種・別科目の免許状取得、免許状の上進は、長年にわたり大学通信教育が最大の受入先になっている事実があること。